

恐れずに真を問う
最年少尼崎市議
市政大改革
奮闘中

光本



尼崎市議会議員 けいすけ

学生時代

進学塾「浜学園」で算数科講師として、中学受験を目指す小学5・6年生を主に担当。質の高い教育の提供が、子ども達の未来だけでなく、その家族の未来をも豊かなものにする信じ、常に教育について考え工夫し続けました。



世界レベル

大学卒業後、外資系コンサルティング会社に就職。世界各国の優秀なメンバーと共に様々なプロジェクトを経験。常に自身の価値を最大限発揮することを求められ、精神的にも肉体的にもタフさを求められ続けました。



野球の世界へ

あのバレンタイン監督が手腕をふるった千葉ロッテマリーンズに転職し、赤字球団の経営改革に参画。“前例がない”に屈することなく、“お金がない”に諦めることなく、民間の創意工夫を最大限に活かし、さまざまな改革を実現。



念願の独立

29歳のときに関西に戻り、2009年6月「加圧トレーニング専門スタジオZone」を設立。社会人時代に学んだ経営分析・改革の手法、サービス業のノウハウを最大限活かし、おかげさまでスタジオは西日本最大級までに成長。



市政「大」改革

財政難を理由に魅力あるまちづくりが積極的にされず、人口減少にも歯止めがかからず、もはや負の連鎖が起こっている。といっても過言ではない現在の尼崎市。次世代にツケを残さないためにも、今こそ本気の「大」改革が必要です。



尼崎生まれの尼崎育ち。恐れずに真を問う最年少尼崎市議、市政大改革奮闘中!!

1979年尼崎生まれ。尼崎市立武庫北小卒業。甲南中・高校卒業。甲南大学法学部卒業。維新塾1期生。現尼崎市議会議員。趣味は算数と美食めぐり。家族は妻、娘。新米パパとして子育て奮闘中！
【2002年】外資系コンサルティング会社に入社。官公庁本部に所属し、主に、郵政民営化プロジェクト、ISOプロジェクト、自動車リサイクル法プロジェクト、e-Japan戦略プロジェクトに参画する。
【2005年】プロ野球球団の千葉ロッテマリーンズに転職。バレンタイン監督体制の下、球場内・外の施設の改革、革新的なファンサービスの確立、石垣島での春季キャンプの誘致・運営などを行う。
【2009年】関西に戻り、加圧トレーニング専門スタジオ Zone を設立。現在は3つのスタジオを展開し、合わせて会員数が3,000名を超える。
【2013年】皆様のお力のおかげで尼崎市議会議員にさせていただく。“恐れずに真を問う最年少尼崎市議会議員”として市政大改革に奮闘中！

LINEで私と繋がりませんか？

光本けいすけが進める尼崎の大改革、あなたも一緒に参加しませんか？

市政や暮らしに関するご質問やご提言、お悩みなど、あなたからの「生の声」を心よりお待ちしております。どんなことでも構いません。どうぞお気軽に話しかけてください。

例えばこんな使い方

「橋がたにヒビいってるわ!」「道路のアスファルトが割れてるで!」などなど撮影された写真をLINEで私に送ってください。すぐに行動します。



LINE LINEおよびLINEロゴは、LINE株式会社の商標または登録商標です

情報発信が下手な尼崎市。戦略的かつ効果的な発信を!!

光本の考え・主張

民間企業と同じく、自治体もいかに戦略的かつ効果的に魅力を発信し続けていけるかが重要な時代になってきています。
 現状では市ホームページ、市報あまがさき、FM ラジオくらいしか主な発信ツールは持っておらず、もはや既存ツールだけでは不十分です。
 特に、本市が力を入れ増やしていきたいと考えている子育てファミリー世帯に対しては、過去の減少傾向を見る限り、既存ツールの発信方法だけでは効果が薄いと判断せざるをえないと考えています。
 また、悪いニュースばかりが目立ち、良いニュースがなかなか取り上げられない本市において、本市自らが戦略的かつ効果的に魅力を発信できるようになることは様々な観点からも非常に重要です。
 そのためにも、最適なツールの提案だけでなく、市内の組織編成やシステム環境についても指摘・提案し続けて行きます!



▲福岡市で導入されたLINE@

2013年12月議会でLINE@を光本が提案し、
 本市でも2014年8月20日から運用が開始されました!!

尼崎市のLINE@は [amagasakicity](https://www.amagasakicity.jp) を検索し、検索したくか、右のQRコードよりご登録ください



教育にかける政策経費は阪神7市1町で断トツのワースト1!!

光本の考え・主張

本市の一般会計に占める教育費の割合を阪神7市1町と比較すると、11.3%と西宮市に次いで第2位となっています。
 しかし、学校施設耐震化事業費などの投資的経費を一般会計と教育費それぞれから除き、本市の教育にかける政策経費だけで比較すると、**阪神7市1町の中で断トツのワースト1**となっているのが明らかになります。

区分	西宮市		芦屋市		伊丹市		宝塚市	
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)
一般会計	167,840,289	100.0	42,900,000	100.0	66,000,000	100.0	71,680,000	100.0
一般会計内数								
投資的経費	13,194,397	7.9	6,586,332	15.4	3,255,338	4.9	6,379,117	8.9
教育費	20,200,091	12.0	4,576,523	10.7	6,396,976	9.7	7,134,252	10.0
教育費内数								
投資的経費	3,359,071	16.6	1,161,390	25.4	684,396	10.7	1,269,037	17.8
一般会計(投資除く)	154,645,892	100.0	36,313,668	100.0	62,744,662	100.0	65,300,883	100.0
教育費(投資除く)	16,841,020	10.9	3,415,133	9.4	5,712,580	9.1	5,865,215	9.0
区分	川西市		三田市		猪名川町		尼崎市	
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)
一般会計	51,998,000	100.0	40,583,000	100.0	9,617,000	100.0	199,810,000	100.0
一般会計内数								
投資的経費	3,051,942	5.9	6,655,359	16.4	1,080,484	11.2	21,805,456	10.9
教育費	4,719,641	9.1	5,048,215	12.4	1,992,229	20.7	22,584,870	11.3
教育費内数								
投資的経費	995,283	21.1	1,376,755	27.3	660,008	33.1	10,669,875	47.2
一般会計(投資除く)	48,946,058	100.0	33,927,641	100.0	8,536,516	100.0	178,004,544	100.0
教育費(投資除く)	3,724,358	7.6	3,671,460	10.8	1,332,221	15.6	11,914,995	6.7

(表の単位: 千円)

本市の教育にかける政策経費の割合は年々減少の一途を辿っており、平成17年度は9.4%だった割合が、平成26年度には6.7%になっています。これでは尼崎市の学力が向上するわけではなく、また阪神7市1町の中でも魅力ある教育を打ち出せるわけがありません。
 このような現状を、恐らく子育てファミリー世帯も肌感覚で感じており、就学前の転出が増加の一途を辿っている要因の一つになっているのだと私は感じています。
 市長や教育長に対し、予算確保の観点からも**教育にかける本気度を問い続けて行きます!**